

# あおもり漁連

代表理事長 植村正治 書

## 資源有限漁業無限

No.  
141



JF外ヶ浜合併仮契約書調印式

## CONTENTS

県内系統・関係機関 年頭ごあいさつ	1
全国系統団体 新年ごあいさつ	7
祝「JF外ヶ浜」誕生	11
本県における認定漁協の進捗状況	12
JF全国漁協代表者集会開催	13
平成17年度漁協運動功労者表彰式	14
「青森県大型クラゲ漁業被害防止対策連絡検討会」開催	15
第33回「海をきれいにする運動」入賞作品紹介	16
浜の情報・話題	20
軽油販売免税システムの紹介	
水産に関する主な動き(10月~12月)	21
県内漁協紹介(蛇浦、易国間、下風呂漁協)	22



2006 1

21世紀は漁村の時代

平成18年



### 青森県漁業協同組合連合会

代表理事長 植 村 正 治

新年あけましておめでとうございます。平成十八年の新春を迎える県内漁業者の皆様そして常日頃漁協の業務運営に奮闘されておられます役職員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

最近の漁業を取り巻く情勢を見ますと、周辺水域の資源量の減少に加え輸入水産物の増大に伴う魚価安、消費の低迷、漁村地域の活力の低下等により漁協をはじめ漁家経営は、構造的な極めて厳しい状況に直面しております。

しかし、この様な厳しい中にあっても漁業を担う者として、国民にとって良質な食料である我が国の水産物を、これまでにも増して安全・安心を心がけながら将来に亘り安定的に供給していくと共に、自らが漁業資源の適切な管理と漁場の有効利用を図り、資源の回復に努めておるところでございます。

加えて、漁村は、水産物の供給はもとより、環境の保全、地域文化の継承、国民レクリエー

ションの場の提供、海難救助等多面的機能を有しており、漁協は漁村の中核的組織として、この多面的機能を有効に發揮させ、地方の時代を支え、活力と魅力溢れる漁村づくりのため先導されており敬意を表する次第です。

さて、昨年の漁業情勢を振り返って見ますと、大型クラゲが平成十五年度の大量発生を更に上回り、全国の沿岸全域に襲来し定置網、底建網、刺網等をはじめ沿岸漁業全体に甚大な被害をもたらしました。更に、これに追い討ちをかけるよう、昨年の燃油の高騰が続き、漁業者は大打撃を受け漁家及び漁協は懸命な努力にも拘わらず、大変厳しい経営を余儀なくされました。

このため、県はもとより国に対しても全漁連、定置協会等と連携しながらクラゲ対策を要望したり、四月に開催された「全国緊急漁業代表者集会」、又、十一月に開催された「JF全国漁協代表者集会」に参加し、「IQ堅持・燃油高騰対策等を国へ強く訴えたところであります。

又、先程も触れましたが、JFグループが十一月十九日、東京において「JF全国漁協代表者集会」を開催し、わが国沿岸漁業を取り巻いている厳しい状況の中で、組合員の負託に応える事ができる体制を早急に実現できるよう、「JFグループの新運動方針」(十八～二十年度)を決議し、尚一層、自主・自立性の高い事業・組

# 県内系統・関係機関 年頭ごあいさつ

大型クラゲの影響は甚大な被害を与え、来年以降の排除対策と併せ再生産対策に万全を期さねばなりません。

ただ、昨年の本県漁業界にも、津軽海峡で大間漁協を中心にマグロ漁が数年来の豊漁となり、更には本県の重要な養殖産業でもあるほたての水揚げが二年連続で百二十億円台を突破する等、関係漁業者にとっては大変喜ばしい明るいニュースもありました。

いずれに致しましても、厳しい国際競争社会の中で国民食料を供給する地域経済を支える基幹産業としての漁業の役割は今後益々重要となつて参ります。そのため、漁協経営の健全化を図ることが重要であることから、昨年七月には県下漁協役職員約三百人が参加し「JF改革（漁協合併）促進大会」を水産ビルにおいて開催し、将来に亘り安定した経営基盤を築いていくため、十九年度末までに「合併基本計画」を完遂することを決議しております。

又、先程も触れましたが、「JFグループが十一月十九日、東京において「JF全国漁協代表者集会」を開催し、わが国沿岸漁業を取り巻いている厳しい状況の中で、組合員の負託に応える事ができる体制を早急に実現できるよう、「JFグループの新運動方針」(十八～二十年度)を決議し、尚一層、自主・自立性の高い事業・組

# あおもり漁連

織・経営の革新に努めることにもなりました。問題は山積しておりますが、皆さんと共に”資源有限・漁業無限“をモットーに、二十一世紀

が真に漁村の時代となりますよう、持続可能な漁業の確立、自立漁協の構築そして豊かで住み良い漁村づくりに邁進しようではありませんか。

終りに、皆様のご健勝とご繁栄、並びに海上安全を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



## 青森県農林水産部

### 部長一洋次

新年おめでとうございます。

本県水産業の発展に御尽力をいただいています皆様に謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

さて、昨年の本県水産業を振り返りますと、まず第一に、平成十五年に引き続き大量の大型クラゲが本県沿岸域に出現し、漁具の損傷や漁獲量の減少、漁獲物の品質低下、排除のための労力の増大など、多くの漁業被害が発生し、今なお、その影響は続いています。

県では、大型クラゲ対策として関係各機関にご協力いただき、「大型クラゲ漁業被害防止対策連絡検討会」を設置し、情報の共有に努めてきたほか、県試験船「青鵬丸」を用いた洋上駆除試験などを実施してきたところです。今後とも、発生要因の解明に向けて、日本・中国・韓国が共同で取り組むことや、西日本海域で小型のうちに一斉駆除する体制づくりを行うことなど国に働きかけていきます。

また、燃油の高騰も大きな問題となっています。漁業経営が厳しい局面に立たされています

が、現在、県では青色発光ダイオード(LED)を利用した集魚灯の実証試験を実施しており、消費燃料の節減による経営改善効果を検証することとしています。

その一方で、八戸港ではイカ類の水揚量・漁獲金額ともに一昨年に比べて増加したほか、夏から冬にかけての日本海側でのマグロやタラの漁獲が好調に推移し、ホタテガイについても、高値の取引きが続き、販売金額は平成十六年度に引き続き百億円を突破するなど、明るい話題がありました。

また、豊かな水産資源を育む豊饒の海づくりのため、漁場環境保全のための植樹・育樹活動による森づくりや、海藻藻場の再生・保全にも力を入れ「山・川・海をつなぐ水循環システム」の確立を図っています。

こうした取組みを通じて、水産業に携わる皆様と一緒に青森県の水産業界を盛り上げ、食料供給県としての確固たる地位を維持し、更なる発展を目指して参りたいと考えていますので、皆様には、今後とも御理解・御協力を願いたいたします。

皆様の御健勝と御繁栄を心からお祈りいたしまして、新年の挨拶といたします。

本県の水産業は、第一線で精励されている漁業関係者の皆様の御尽力により、全国へ水産物の安定供給の役割を果たすとともに、地域経済や社会の安定・発展を支える重要な役割を担つてきました。しかし、輸入水産物の増加などにより長期化する魚価の低迷など厳しい情勢を反映して、漁業経営は苦しい状況が続いています。このため、県では、首都圏の量販店・市場等を対象としたトップセールスや輸出を含めた県



## 農林中央金庫

青森支店長 小川莊平

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、日頃よりJFマリンバンクの運営にご尽力をいただいており、心よりお礼申し上げます。特に昨年は、目標としていた県信漁連への信用事業譲渡が事実上完了し、より安定・強化された体制で、組合員に対する金融サービスが提供できるようになりました。ここにいたるまでの関係者のご理解とご努力に対し、重ねてお礼申し上げます。

JFマリンバンクでは、本年よりあらためて「あんしん体制」の構築に取組み、経営の健全性を維持しつつ、組合員への金融サービスに入れてまいりたいと考えております。

信用事業は、利用者の大切な財産をお預かりするという点で、銀行等と変わることろがなく、しかし、一方で食料自給率の引き上げに向け、あるいは安全・良質な蛋白質の供給の源として、漁業の担い手に対する国民の期待は高まっています。漁協への期待も同様です。県内では、平内町漁協に続き、昨年は八戸みなと漁協が認定漁協となりました。担い手育成などの諸課題に取り組める基盤を備えた漁協として、国庫補助事業が優先的に採択されることになります。現在、この認定を目指す目的も含め、各地区で合

併協議が進められています。水産資源の管理・行政や消費者の理解を求めていくことがありますますます重要となるなかで、これらの推進・指導の先頭に、認定漁協の力強い姿がみえてこそ、青森県の水産業の発展があるものとご期待申し上げます。

総合事業を行っている漁協であればこそ、購買・販売事業の取引や資金決済を通じ、実効性のある指導ができるものとご期待申し上げます。最後になりましたが、本年の豊漁ならびに県内漁業に携わる皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

ともに、組合員の「借りる力」の育成指導が不可欠です。申込の段階で事業計画等の審査資料が十分に揃わないことが円滑な融資の障害となる場合があります。さらに融資実行後も、実績の説明や資金管理が不十分であれば、融資機関内で必要以上の引当を余儀なくされることもあり、それが融資に対する消極スタンスを生むという悪循環に陥りかねません。漁協においては、組合員の操業能力や実績、魚価や資材價格の動向を踏まえた事業計画の策定、操業ごとの実績記帳など、組合員の「借りる力」を高めていく指導が、ますます重要になってきます。

JFマリンバンクでは、本年よりあらためて「あんしん体制」の構築に取組み、経営の健全性を維持しつつ、組合員への金融サービスに入れてまいりたいと考えております。



続けるためには、融資・保証機関側の態勢整備とともに、組合員の「借りる力」の育成指導が不可欠です。申込の段階で事業計画等の審査資料が十分に揃わないことが円滑な融資の障害となる場合があります。さらに融資実行後も、実

績の説明や資金管理が不十分であれば、融資機関内で必要以上の引当を余儀なくされることもあり、それが融資に対する消極スタンスを生むという悪循環に陥りかねません。漁協においては、組合員の操業能力や実績、魚価や資材價格の動向を踏まえた事業計画の策定、操業ごとの実績記帳など、組合員の「借りる力」を高めていく指導が、ますます重要になってきます。

あおもり漁連



青森県信用漁業協同組合連合会

代表理事長  
古川

俊

新年あけましておめでとうございます。

平成十八年の新春を迎えるにあたり、県内の漁業・漁協関係者の皆様に心からお喜びを申し上げます。

引き九月から大量来遊した大型クラゲの被害に

日本全国において、施設の損壊、漁獲量の減少等により、漁業経営・漁協経営に深刻な影響を与えていていることから、早急な対策が望まれているところであります。また、燃油高騰に依り、漁業経営は増え厳しい状況に置かれております。

ATMへの盗撮カメラ設置による被害等、金融機関を巡る犯罪が急増していることから、金融機関は顧客の資産（貯金や個人情報）の安全を守る等、信用・信頼が求められているところで

るため、昨年十一月から無担保・無保証による  
カードローンを推進しておりますので、皆様の  
ご利用をお願い申し上げます。

今後については、経営改善計画達成に取り組  
むと共に、役職員一丸となつて皆様の負託に応  
えるべく努力をいたして参りますので、どうか  
宜しくお願ひ申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝を祈念し、平成十八年も相変わらぬご愛顧・ご支援を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げご挨拶といたします。

事業責任体制構築の運びとなっております。これにより、本県は信用事業実施一漁協と信用事業統合四十一漁協の複数体制となり、皆様から信頼されるJFマリンバンクとして、スタートすることとなつております。

本会経営改善計画については、平成十三年度策定以降順調に推移し、十六年度末（十七年三

の景気の先行はまだ予測を詰きない情勢であり、序二回迄は二月間二二〇回更の如

が見えにくい状況となつております。

行なわれましたが、金融機関の不良債権処理問題が峠を越したことから、金融システムに大き

た影響はありませんでした。しかしながら、社会問題化している偽造キヤツシユカード問題、

から感謝を申し上げます

本会では経営基盤強化のため、十七年度は縣賞付定期貯金の募集を年二回企画いたしておりましたが、第一回目は昨年十月から既に実施し、二回目は十八年二月から予定の運びとなつてお



## 青森県漁業信用基金協会

理事長 植 村 正 治



新年あけましておめでとうございます。

平成十八年の輝かしい新年を、会員の皆様とお迎えすることができましたことを大変うれしく思います。

また、日ごろ当協会の業務につきまして、県、市町村、関係機関より格別の御指導、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は企業の設備投資の増加並びに株価の上昇等緩やかな景気回復となつてきてはいるものの、地域経済においては、企業倒産、雇

用問題等依然として厳しい状況が続いており、早期の景気回復を願うものであります。

一方、本県水産業（特に中小漁業者）においては、輸入水産物の増大に伴う魚価低迷並びに燃油高騰等により経営が一層厳しい状況が続いているなかで、平成十五年を上回る大型クラゲが本県沿岸に大量に流入し、定置網、底建網漁業等が壊滅的な打撃を受け、一昨年の台風襲来等三年続いての自然災害により、漁家経営がますます厳しい状況となつております。

このような時こそ、漁協並びに漁業者の皆様そして私たち「系統団体」が一丸となり、その役割を發揮することが必要であり、特に平成十三年度から実施している沿岸漁業推進関連資金（県漁連・信漁連・協会三者で創設）は、お蔭様で好評をいただいており、また、本年より本協会独自で新たな保証対応の一環として極度貸付事業資金への根保証を実施し、中小漁業者等の事業運営の円滑化と利便性を図つて参りたいと考えております。今後とも浜の活性化のため、漁業者並びに会員がより利用しやすい公的保証機関として、積極的に推進して参りたいと思いまので、皆様の御協力、御支援を賜りますようお願いいたします。

終りに、皆様のますますの御繁栄と御健勝をお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

ら据置きといたしております。

漁船船主責任保険の基本損害は、基準保険料率平均十・四パーセントの引き下げに伴い付加保険料率も平均九・二パーセントの引き下げを行いました。

これは法律改正により船主責任制限額が現在の一億円から約六億円に引き上げられることから、漁業者の皆様方から低廉な保険料で制限額の六億円に全船加入していただくため設定いたしました。又、人命損害及び乗組船主保険においても二十トン未満は平均二十三・九パーセントの保険料率の引き下げを行いました。

新年あけましておめでとうございます。

平成十八年の新春を迎え 県内の漁業者、水産関係団体、漁協関係の役職員の皆様に心から新春のお喜びを申し上げます。

月、三年に一度の保険料率の改正があり、普通損害保険保険料率においては全国の再保険料率は平均二・七パーセントの引き上げとなりましたが、当組合として平均二・九二パーセントの引き下げを行い、又付加保険料は平成八年度か



## 青森県漁船保険組合

組合長理事 福 島 哲 男

新年あけましておめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。

当組合の現況を顧みますと、加入隻数は平成七年の八千八百二十九隻をピークに、平成十六年度は七千五百九十九隻と一千二百三十九隻の減少、契約金額に於いて、平成元年度八百七十八億円をピークに、平成十六年度五百七十億円と三百七億円の減少となつております。これらの減少は、減船および漁業者の高齢化による廃業が主原因と思われます。この現象は本県だけでなく全国的な現象で、数年前より漁船保険中央会に於いて漁船保険組合の広域合併問題が検討されております。今後当組合の課題としては、特に

中型イカ釣船の高船齢による今後の動向が危惧されております。今後は特に一トン未満船の未加入船の加入促進に入れていくとともに、昨年初めて地区別漁協担当者会議を開催し、漁協担当者との保険業務が円滑に進むことと、保険金早期支払に向けて努力して参りました。今後も継続して漁協及び漁業者のため誠心誠意努力してまいります。

平成十七年の本県の水産業は、陸奥湾におけるホタテ養殖漁業は順調に推移しているものの、沿岸・沖合漁業は長引く魚価の低迷と水揚

中型イカ釣船の高船齢による今後の動向が危惧されております。今後は特に一トン未満船の未加入船の加入促進に入れていくとともに、昨年初めて地区別漁協担当者会議を開催し、漁協担当者との保険業務が円滑に進むことと、保険金早期支払に向けて努力して参りました。今後も継続して漁協及び漁業者のため誠心誠意努力してまいります。

本県の厳しい漁業環境に対して、各水産関係団体が力を合わせてこの厳しい局面に立ち向い、当組合も漁船損害等補償法の制度の主旨である漁業の再生産及び漁業者の豊かなゆとりのある生活に向けて努力してまいります。

終わりになりますが、皆様の今年一年のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 青森県漁業共済組合

組合長理事 三津谷 廣 明

## 漁業経営のセーフティネット 「ぎよさい」 の積極的活用を

昨年は、観測史上最多となる十個もの台風の上陸により全国各地で多大な漁業被害を受けました。また、昨年の上陸数は大幅に減少したものの、台風十四号等による被害は少なくありませんでした。加えて秋口からは日本全国で大型クラゲが大量に来遊し、甚大な漁業被害をもたらしています。関係漁業者の経営は一段と厳しさを深めています。

我々ぎよさい団体は、本年四月より、これまで四年間展開してきました「新ぎよさい総加入運動二十一」の成果を踏まえ、「ぎよさい」の果たす役割を十分に理解してもらう努力を行い、積極的活用を呼びかけることによって、漁業の主要な担い手となる漁業者全員の「ぎよさい」加入を図るべく新たな普及推進運動を展開する所存であります。

新春にあたり本年の豊漁と安全操業を心から祈念申しあげます。

さて、最近の漁業経営を取り巻く環境は、水産資源の悪化、長引く魚価の低迷、漁業燃油の急激な高騰、頻発する自然災害に伴う漁業被害の発生等誠に厳しいものとなつております。一

本年も新時代の漁業と漁村づくりのために

「ぎよさい」がより一層浜の期待に応えるべく、  
国、地方公共団体、漁協系統団体等との緊密な  
連携のもとで漁業者の皆様と相携えて力強く前  
進したいと存じますので、引き続いての皆様の

ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

平成18年

# 全国系統団体 年頭ごあいさつ



全国漁業協同組合連合会

代表理事長 植 村 正 治

これまでも協同の力で困難な時代を乗り切って  
きました。JFグループ一丸となつて山積する  
課題を解決していくなければなりません。

わが国の景気は回復基調にあると言われてお  
りますが、水産界ではまだ回復のきざしは見え  
ておりません。しかし、この難局を乗り越えた  
先には、必ず明るさが見えると確信しております。

全国の皆様、明けましておめでとうございま  
す。

新年にあたり、全国のJFグループを代表し  
まして謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は漁業界にとつては誠に厳しい年でした。

受け、漁業経営は大変厳しい状況に置かれてお  
ります。

新年にあたり、全国のJFグループを代表し  
まして謹んでご挨拶申し上げます。

世界に誇ることのできるわが国の魚食文化を  
子々孫々に伝え、これを支える漁業・漁村の持  
続的発展の基盤を構築する新たなスタートの年  
になることを祈念し、あわせて皆様方のご活躍  
と航海の安全ならびにご健勝をお祈り致しまし  
て、新年の挨拶といいたします。

昨年十二月に香港で開催されたWTO閣僚会  
議では結論は先送りになつたものの予断を許さ  
ない状況には変わりがありません。

このような状況の中、昨年十一月には「JF  
全国漁協代表者集会」を開催し、これから三年  
間のJFグループの新運動方針を決定致しました。  
JF合併の実現、高齢化対策、組合員の経

営安定対策、販・購買事業の改革とJFの経営対  
策、等々解決しなければならない問題が多くあ  
ります。本年はこれらの実践を開始する年であ  
ります。前途は決して平坦ではありませんが、  
しました。

これらに加え、永年にわたる資源の減少、魚  
価の低迷、大量に流入する輸入水産物の影響を  
しました。

これらに加え、永年にわたる資源の減少、魚  
価の低迷、大量に流入する輸入水産物の影響を  
ました。



## 全国共済水産業協同組合連合会

代表理事長 佐々木

護

### 新チヨコ一機軸に

### 保障の万全期す

新年、明けましておめでとうございます。二

〇〇六年の年頭にあたり、本年が皆様にとって実りある年となることを心からお祈り申し上げます。

さて、わが国経済は幅広い業種で企業収益が改善し、景気回復が続くと見込まれているものの、原油価格の動向が内外経済に与える影響等には、今後も留意する必要があります。また、生保業界にあっては依然として続く超低金利情勢や逆ザヤと新規・保有契約実績が低迷しており、損保業界では景気に支えられた国内市場の回復が認められるものの、価格・サービス競争が引き続き展開されております。

一方、漁業・漁村においては、産地魚価の低迷に加え、漁船燃油の高騰が漁家経済を圧迫しており、漁業就業者の減少と高齢化の進行にとっており、漁業・漁協経営はさらに厳しさ増大の今日であります。これに対処するため、昨年十一月に開催された「全国漁協代表者集会」で決

定された運動方針により、漁協合併構想の完遂による自立漁協の構築と事業改革の実践によるJF事業利益“V字回復”的実現に取り組んで

いくこととなりました。

このような事業環境のもと、JF共済（JF共水連）においては、“海！輝く未来へ—JF共済三か年計画”（平成十七年度～一九年度）の活動基本方針にある一・組合員等利用者の保障の充実と地域住民への普及拡大、二・共済事業基盤の強化に基づき、これらに関連する主要施策とその具体策について、緊急性の高いものから順次取り組んでいくことといたしました。

平成十七年度に改正いたしました新チヨコ一を機軸に、厳しい事業環境にあればこそ、より組合員等の保障の万全を期すことを使命として元受JF等と一体となつて強力な普及活動を開することにより、事業量目標の必達に取り組んでまいります。さらに、JF共済の事業基盤を強化するため、JF共水連マネジメント改革の推進等事業実施体制の効率化を図るとともに、コンプライアンス（法令遵守）・リスク管理態勢の整備・強化等、さらなる事業の健全性の確

保につとめてまいる所存であります。  
どうか新しい年におきましても、JF共済につきまして引き続き皆様の特段のご高配を賜わりますよう、切にお願いを申し上げる次第でございます。最後になりましたが、わが国漁業の明るい未来とJFグループがますます発展することを祈念いたしまますとともに、皆様方のますますのご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。



# 謹賀新年



## 青森県漁業協同組合連合会

代表理事長会員

植村正治

副会長理事

西崎義三

専務理事

久保澤

常務理事

小出政

理事

手間本政

柳谷拓

事

熊谷一郎

事

三津谷廣明

事

泉川村春

事

三津谷廣明

事

赤角田順二

事

成田石憲

事

## (社)青森県漁港漁場協会

会長

逢坂

ほか役職員一同

## 青森県漁業共済組合

組合長理事

三津谷廣明

ほか役職員一同

## 青森県信用漁業協同組合連合会

代表理事長会員

古川俊

ほか役職員一同

## 青森県漁船保険組合

理事長

植村正治

ほか役職員一同

## 青森県漁業信用基金協会

組合長理事

福島哲男

ほか役職員一同

## 全国共済水産業協同組合連合会青森県事務所

推進本部長

古川俊

ほか役職員一同



# 契約書調印式



主催者挨拶を述べる前田平館村漁協組合長

蟹田町漁協・平館村漁協合併仮契約書調印式が、昨年十月十四日に外ヶ浜町において執り行なわれた。

始めに、主催者を代表して、平館村漁協前田広臣組合長が「漁業環境の悪化、組合員の高齢化等により漁業、漁協の経営は極めて深刻な事態に至っている中、組合員の負託に応え得る合理的かつ効率的な組織をつくり、経済的地位の向上を図ることが合併の最大の目的である」と挨拶を述べた。

その後、外ヶ浜町の森内勇町長を立会人として蟹田町漁協小川肇組合長と前田広臣組合長は仮契約書に調印した。

**祝  
JF  
外ヶ浜  
誕 生**

# 蟹田町漁協と平館村漁協が合併 「外ヶ浜漁協」として 新年とともにスタート

## 反契約書調印式



来賓挨拶を述べる一戸農林水産部長

## 契約書調印式



来賓挨拶を述べる植村県漁連会長

## 反契約書調印式



来賓挨拶を述べる森内外ヶ浜町長

する構想を目標に進んでいるところであり、本漁協の合併は青森県全体にとって大きな力になるものである」と述べた。

また、一戸洋次青森県農林水産部長は「合併により経営の健全化を図りながら、漁協が果すべき機能を發揮するための体制を構築することになったのは、県内漁協の模範となるものである」。更に、森内勇町長は「厳しい社会情勢を背景に流通対策、漁場環境の保全、資源管理型漁業の推進のもと、合併により自立性を高め財政基盤の強化を図ることが強く求められている中、漁協の合併は地域水産業の発展を目指す

第一步と受け止めている。今まで様々な経緯があつたが、必ずや地域の財産として将来に引き継がれ、新たな産業づくりに繋がるものである」とそれぞれ挨拶を述べた。

両漁協は十月三十一日に各臨時総会において、名称を「外ヶ浜漁業協同組合」、本所を旧平館村漁協とし、平成十八年一月一日に合併することを決議し、正組合員二百五十余名、販売取扱高約二十億円の漁協を発足することとなつた。

両漁協は平成十六年三月に蓬田村漁協を含めた三漁協で合併研究会を発足し協議を進めていたが、平成十六年十月に蓬田村漁協が研究会を離脱し、蟹田町、平館村の二漁協で協議を継続、昨年七月に合併推進協議会へ移行し、合併に向けた本協議を重ねてきた。



式場風景

# 本県における認定漁協の進捗状況

認定漁協は、全国で121の漁協（平成17年11月1日現在）が認定されており、本県でも平内町漁協、八戸みなど漁協につづき、外ヶ浜漁協が合併により新たに認定され3漁協が認定漁協となりました。

現在も7つの地区（参加漁協29漁協）が県へ申請済みで、1月中に認定される予定となっております。

漁協名	現況
平内町漁協	平成16年10月認定済
八戸みなど漁協	平成17年5月認定済
外ヶ浜漁協（旧平館村漁協、旧蟹田町漁協）	平成17年12月認定済
むつ市、川内町、脇野沢村漁協	平成17年12月申請
竜飛、三厩村、今別町西部、今別町東部漁協	平成17年12月申請
野辺地町、横浜町漁協	平成17年12月申請
鯵ヶ沢、赤石水産、大戸瀬、風合瀬、舡作、岩崎村、大間越漁協	平成17年12月申請
石持、野牛、岩屋、尻屋、尻勞、猿ヶ森漁協	平成17年12月申請
小泊、下前、脇元、十三、車力漁協	平成17年12月申請
青森市、後潟漁協	平成17年12月申請

# 「JF全国漁協代表者集会」開催

## 「新運動方針」を決議

11月19日、東京都・虎ノ門パストラルにおいて、全国漁協代表者ら約650名の参加のもと「JF全国漁協代表者集会」が開催された。

冒頭、主催者を代表して、植村正治JF全漁連会長が「浜の現状は燃油高騰、大型クラゲの来襲等により、危機的な状況にあるが、将来の漁業の発展、漁業者の経営・生活を守るために自らの漁協の事業・組織・経営改革に向けた新運動方針にご賛同いただきたい。」と挨拶を述べた。

続いて、来賓を代表して中川昭一農林水産大臣（小林芳雄水産庁長官代読）、鈴木俊一自由民主党総合調査会長、渡辺孝男公明党農林水産部会長がそれぞれ挨拶を述べた。

集会では「JFグループの事業・組織・経営改革に向けた新運動方針（案）」について、佐々木護JF全漁連副会長が具体的な取組事項等を説明し、その後、佐々木憲雄志津川漁協組合長、尾山春枝全国女性連会長より、意見表明がなされ、新運動方針は満場一致で採択された。

また、漁業・漁協経営の障害の1つとなっている燃油価格高騰の対策について、政府・国会に強く求めていくことの緊急決議がされた。続いて、「JF合併と事業改革の実現に向けた特別決議」、「JFマリンバンクの健全性・信頼性確保に向けた特別決議」がそれぞれ提案され、満場一致で採択された。

### 「JFグループの事業・組織・経営改革に向けた新運動方針」 重点取組事項

1. 19年度末の「漁協合併促進法」期限を踏まえた漁協合併構想の完遂
2. 赤字の事業利益の“V字回復”に向けた取り組みによる健全経営の確保
3. 組合員の漁業経営の安定に貢献するJF事業改革の実践
4. 漁業・漁村の活性化への貢献



集会の参加の本県代表者



主催者挨拶を述べる植村全漁連会長

# 平成十七年度漁協運動功労者表彰式



J F 風合瀬

代表理事組合長

山本政廣

## 功績の内容

特別功労章が贈られた。

この功労章は、漁協運動のリーダーとして長年活動した功績を顕彰するため、昭和六十一年に制定され、今年度本県からは、山本政廣 J F 風合瀬漁協組合長が受賞された。

平成十七年度（第二十回）漁協運動功労者表彰式が、去る十一月十八日、東京・虎ノ門バストランにおいて行われた。

始めに、植村正治 J F 全漁連会長は「厳しく返還極まりない社会・経済情勢の中で漁業・漁村の維持・発展のため、組織ならびに漁業者の先頭に立って長く貢献的な努力をされた受章者の皆さんに敬意と感謝を表す」と主催者の挨拶を述べ、来賓を代表して中川昭一農林水産大臣（金子恭之農林水産大臣政務官代読）が祝辞を述べた。

今回の漁協運動功労章は三十九名の方々が授与された。また、故鈴木善幸元首相に漁協運動



昭和五十二年に風合瀬漁業協同組合理事、平成四年二月から代表理事組合長として優れた指導力と統率力を遺憾なく發揮し、西北地域の漁場清掃、道の駅「かそせいか焼き村」の管理運営等、漁業生産性の向上と組合事業の発展に多大な貢献をしている。また、西北水産振興会会长として、十三湖湖岸のゴミ処理施設の建設設計画を中止させる等、漁業環境保全にも貢献している。更に、青森県内の密漁防止について、青森県漁場監視団連合会会长として関係機関と連携を取りながら、積極的に密漁防止対策に取り組み漁業資源の保護に貢献している。

# 「青森県大型クラゲ漁業被害防止対策連絡検討会」開催

去る11月15日、「第2回青森県大型クラゲ漁業被害防止対策連絡検討会」が開催された。大型クラゲは、現在、県内全海域に襲来し、定置網、底建網、刺網、底曳網などに多いところで数千から万単位の入網が確認され、漁具の損傷、漁獲量の減少、漁獲物の品質低下、更に排除のための労力の増大など甚大な漁業被害が発生している。

これに対し会議では、これまでの対応や今後の対策について協議を行った。

## 1. これまでの大型クラゲ対策

### [国の対応]

- (1) 自民党「大型クラゲ対策本部」を設置（9月8日）
- (2) 水産長官を本部とする「大型クラゲ対策本部」を設置（9月16日）
- (3) 迅速な来遊情報の収集と提供、大型クラゲの混獲の回避または軽減、余剰駆除の実証試験、陸上処理の推進、漁具改良をはじめとした各種技術開発、金融措置の5本柱の大型クラゲの総合対策を実施。
- (4) 「大型クラゲ対策全国協議会」を設置し、国及び関係都道府県及び漁業団体等が対応する組織を整備（10月4日）

### [県の対応]

- (1) 三村知事が水産庁長官に要請（7月28日）
- (2) 日本海沿岸地帯振興連盟として大型クラゲの漁業対策被害を要望（8月5日）
- (3) 青森県大型クラゲ漁業被害対策連絡検討会を開催（9月12日）
- (4) 長谷川出納長が水産長官に要請（9月16日）
- (5) 青森県知事、県議課長名で水産長官に陳情要請（10月13日）
- (6) 青森県知事が水産長官に抜本的な対策を再度要請（11月11日）

## 2. 今後の対策

- (1) 「大型クラゲ対策全国協議会」を通じて各県連携して一斉に大型クラゲを駆除し、この経費については、新日韓漁業協定関連対策時別基金を活用出来るように今後も国に要望する。
- (2) 被災した漁具の復旧については、漁業近代化資金及び農村漁業金融公庫資金等の円滑な融通及び既借入資金の償還猶予等の緩和措置について関係機関と連携して進めていくとともに、漁協系統金融機関の融資にあたっては、無担保・無保証人制度の有効活用を図る。

また、漁業共済については、早期支払について、関係機関へ引き続き要請していく。

- (3) 平成17年度「強い水産業づくり交付金」の漁場環境保全目標メニューの追加要望が水産庁からあったことから、大型クラゲの陸上の処理、洋上駆除及び、改良漁具導入促進を行う。（11月補正で対応）

①漁場環境美化推進事業捕縄金（大型クラゲ陸上処理及び洋上駆除対応）

補助率2分の1. 事業主体：県、市町村

②大型クラゲ被害防止対策事業補助金（大型クラゲ対策改良漁具導入促進対応）

補助率2分の1. 事業主体：県、市町村、漁業協同組合

（個人の漁具は対象にならない）

## 第33回「海をきれいにする運動」

# 入賞作品紹介

青森県漁業協同組合連合会とむつ湾漁業振興会共催による第33回「海をきれいにする運動」は、むつ湾関係者のご協力により相応の成果を上げることができました。

この運動は、むつ湾の公害絶滅・漁場環境の清浄化を図り、資源の保護、自然環境保全に努め、むつ湾の海をより美しいものとすることを目的に、平成17年7月20日から10月31日まで実施され、各漁協のご協力のもと海岸清掃等が行われました。

また、この運動の一環としてむつ湾沿岸に位置する小・中学校の生徒を対象に海をテーマとした作品募集をしたところ、図画291点、ポスター226点、作文60点、標語397点の合計974点の応募があり、専門審査員による厳正な審査の結果優秀作品が決定され、去る12月17日（土）青森県水産ビルにおいて表彰式を行いました。

この中で、図画の部の優秀作品（小学校6点）については、全漁連主催の第28回「全国海の子絵画展」へ出品しております。

本運動にご協力をいただきました関係者並びに学校関係者に対して厚くお礼申し上げますと共に、来年度も引き続き本運動を展開して参りますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

尚、図画・ポスター・標語の入賞作品並びに作文の特選については、青森県水産ビル2階ギャラリーへ展示致しておりますので、ご来館の際は是非ご覧下さるようお願い申し上げます。



作品審査会風景

# 第33回「海をきれいにする運動」審査結果

## 《图画の部》

### 【小学校】

賞名	学校名	学年	氏名	備考
特選	久栗坂小	3年	堤 邑真	全国出展
準特選	原別小	5年	中村眞弥	〃
〃	〃	6年	津島申之助	〃
佳作	〃	〃	奈良結有	〃
〃	東田沢小	5年	田中月	〃
〃	〃	6年	畠井渚	〃
〃	〃	〃	前田祐舞	
〃	平館小	1年	金澤美幸	
〃	〃	〃	金澤真広	
〃	奥内小	〃	小笠原海	
〃	油川小	2年	市川快成	
〃	〃	4年	大澤侑平	
〃	〃	〃	西田陸朗	
〃	久栗坂小	2年	白坂千絵	
〃	〃	3年	橋本玲南	
〃	〃	〃	川村菜緒	
〃	〃	4年	笹原まどか	
〃	浅所小	1年	福田魁星	
〃	東小	2年	太田喜也	
〃	〃	4年	船橋綾香	
〃	宿野部小	6年	橋本実季	
〃	脇野沢小	5年	山崎七夕美	

第28回全国海の子絵画展出品 6点

### 【中学校】

賞名	学校名	学年	氏名	備考
準特選	三厩中	3年	成田裕人	

## 《ポスターの部》

### 【小学校】

賞名	学校名	学年	氏名
特選	小湊小	6年	田中あゆみ
準特選	〃	〃	渡邊由子
〃	浅虫小	1年	福田遼
佳作	〃	2年	浅利和幸
〃	蟹田小	6年	戎登子
〃	油川小	2年	松岡龍祐
〃	〃	4年	工藤栄一郎
〃	西田沢小	2年	新谷美紅
〃	原別小	5年	小笠原花林
〃	〃	〃	辻村勇毅
〃	山口小	3年	竹内まどか
〃	小湊小	4年	工藤千尋
〃	〃	6年	久末雪奈
〃	〃	〃	浪岡玲奈
〃	若葉小	2年	大山滉永
〃	奥内小(むつ)	1年	山崎秀斗
〃	第一田名部小	5年	熊谷綾香
〃	第二田名部小	3年	阿萬優也

### 【中学校】

賞名	学校名	学年	氏名
特選	小湊中	3年	佐々木美雪
準特選	三厩中	〃	柏谷光
〃	今別中	2年	泉谷優斗
佳作	〃	1年	森田佳菜
〃	三厩中	〃	三浦彩香
〃	〃	2年	柳谷未来
〃	〃	3年	伊藤里穂
〃	角違中	〃	林花梨



图画の部 小学校特選 堤 邑真君



图画の部 中学校準特選 成田裕人君



ポスターの部 小学校特選 田中あゆみさん



ポスターの部 中学校特選 佐々木美雪さん

## あおもり漁連

### 《作文の部》

賞名	題名	学校名	学年	氏名
特選	よごれている海	浅所小	4年	遠嶋直幸
準特選	わたしの町の環境	平館中	2年	工藤美里
〃	海を大切に	浅所小	4年	三津谷浩志
佳作	海のごみ	〃	〃	飯田海飛
〃	きれいな海への第一歩	馬門小	5年	本間郁弥
〃	おばあさんと私のキモチ	大湊中	2年	久保悠紀
〃	汚染される海	〃	〃	松本拓巳

### 《標語の部》

賞名	題名	学校名	学年	氏名
特選	守っていこう 海という名の 財産を	蛎崎小	6年	布施大樹
準特選	きれいにね 海にも命 あるからね	馬門小	5年	横浜めぐみ
〃	守ろうよ 自分の町の 自分の海	第一川内小	〃	石澤恭
佳作	海の中 今は災害 起きている	蟹田中	3年	福井沙矢佳
〃	きれいなうみ あそんだおもいで ありがとう	浅虫小	1年	三国源
〃	神様が 捨てるところを 見ているよ	野辺地小	6年	木村華
〃	ポイ捨ては 海も汚すし 心も汚す	奥内小(むつ)	5年	山崎夏実
〃	ゴミ拾い みんなの力で 守る海	第一田名部小	4年	廣田美鈴
〃	きれいにしよう 海はみんなが 使うとこ	第二田名部小	5年	森内絵理
〃	守りたい 魚と泳ぐ むつの海	大湊小	4年	大西美早紀
〃	きれいかな？ あなたの近くに ある海は	大湊中	1年	飛内優美
〃	海が好き！ きれいな海は もっと好き！	〃	3年	三浦結咲子



標語の部 佳作 廣田美鈴さん



作文の部 特選 遠嶋直幸君



記念撮影

# 第三十三回「海をきれいにする運動」

## 特選作文の部

### 『よごれている海』

平内町立浅所小学校 四年 遠 嶋 直 幸

「なんでこんなによごれているんだろう。」

ぼくが間木の岸べきに釣りに行つたときのことです。釣り糸を海に下ろしたとき、岸べきの方に、ペットボトルや発泡スチロールなどのごみが、たくさん浮かんでいるのに気が付きました。その数は、何十こもあつたので、ぼくはびっくりしてしまいました。

それから、釣りざおを下げていても、ぜんぜんあたりがきません。さおを上げてみると、オレンジ色の玉ねぎのネットが、針に引っかかつてきたのです。ぼくは頭にきました。そして、「これなら、釣れるわけがないな。」と思いま

した。

この日は、魚は一匹も釣れませんでした。

「去年は、ここ岸べきでは、アイナメやソイが釣れていたのに、なぜだろう。」と思ひながら、家に帰りました。

家に帰ると、弟が二階からおりてきて、

「おにいちゃん、今日、魚釣れた？」

と、にこにこして言いました。ぼくは、「今日、ごみいっぱいあんでたから、釣れなかつた。」

と、ちょっとむつとして答えました。

お母さんは、

「えっ、今日、タゴはん、さしみにするか、フライにするかと思ってたのに。」

と、笑いながら言いました。

ぼくは、「ごみさえなければ、大漁だつたはずなのに。」と思って、ごみを捨てた人がぐらしくなりました。

その夜、ぼくはお父さんに話してみました。

「お父さん、今日、岸べきに行つたら、ごみがういていたよ。」

ぼくが言うと、お父さんは、「どのくらいういていた。」

と、ちよつとおこつたような声で言いました。

ぼくが、「五十こぐらいもあつたよ。」

と、お父さんは、「みんな、海を大切にしていいんだな。」

と、悲しそうな顔で言いました。

ぼくのお父さんは漁師です。だから、ごみで海がきたなくなると、魚もとれず、一生けんめい育てているほたても、死んでしまうかもしね

ないです。

次の日、ぼくは、お父さんにお願いして、新しい船に乗つて、あみ上げの手伝いをしに行くことにしました。朝四時三十分に起きて、外に出ると、お父さんはもう船に乗つっていました。まだ寒くて、ぼくは少しふるえながら船に乗りました。お父さんが、

「あぶないから船の中にいる。」

と言つたので、あみの場所に着くまで船の中にいました。

船が着くと、ぼくは外に出て、あみの魚をはずす手伝いを始めました。あみには、ネコザメやタイなどがたくさんかかっていました。ところが、最後の方になると、たゞこの箱や空きかんなどのごみがたくさん引つかかっていたのです。ぼくは、「だれだ、こんなにごみを捨てるのは。」と思いました。

そして、お父さんを見ると、何も言わず、一つづつていねいにあみからごみをはずしていました。ぼくは、「お父さん、悲しいんだろうな。」と思いました。そして、ぼくもだまつてお父さんといつしょにあみのごみをはずしました。

ぼくは、これから、お父さんといつしょにほたてを守つていきたいと思います。そして、平内の海に、ごみが一つも落ちていないようになればいいと思つています。しよう来、ぼくが漁師になつた時には、きれいな海で新せんなん魚やほたてを取りたいです。

# 浜の情報・話題

## 軽油販売免税システムの紹介

平成17年9月、パソコンによる「軽油販売免税システム」を野辺地町漁協と(有)ページワンが共同開発した。

### 1. 事務処理の簡素化

- (1) 利用者の情報を登録後、名義変更・船体の更新等以外は、給油情報の入力により日毎、月毎、年毎の集計が自動的に反映されるシステムである。
- (2) 県税事務所提出の申請書についても、自動的にデータの集約ができプリンタより排出される。(手作業は日付記入及び押印のみ)

### 2. 導入事例の紹介 (JF野辺地町…利用者135名、給油所2ヶ所)

- (1) 燃油販売事務処理は、これまで手作業処理で月10日程の時間を割いており、繁忙期には書類が滞り更新月の利用者を優先して処理していた。
- (2) システム導入後は、臨時職員によるデータ入力(1日当たり約30分程度)で処理が終わり、ほかの業務もこなしている。前任者は現場に専念できるようになった。
- (3) 8月末日期限の利用者からプリンタにより排出された普通紙により申請を行い、免税券が交付されている。

## システムの特徴

軽油販売業務、全般に対応しています。

受扱(仕入、売上、メーター、在庫)

給油所

漁協

日次、月次集計  
購買管理

免税軽油、課税軽油ともに対応

購入数量、  
使用実績、計画

報告

利用者

免税証

枚数、有効期限

提出

軽油受扱及び在庫確認書

青森県漁連

各県税事務所

申請、報告、返納

## 水産に関する主な動き（10月～12月）

10月	事 項	場 所
6日(木)	平館村・蟹田町漁協合併促進協議会	外ヶ浜町
7日(金)	漁協販売担当課長会議	青森市
7日(金)	密漁取締合同訓練	東通村
13日(木)	さけ生産計画及び海産親魚供給に係る現地協議会（日本海地区）	深浦町
14日(金)	平館村・蟹田町漁協合併仮契約書調印式	外ヶ浜町
17日(月)～19日(水)	秋季ホタテガイ実態調査	むつ湾
20日(木)	東日本産地魚市場協会通常総会	福島県
21日(金)	漁協購買担当者研修会	青森市
21日(金)	さけ生産計画及び海産親魚供給に係る現地協議会（太平洋地区）	東通村
24日(月)	日本海北部漁協合併研究会設立総会	中泊町
25日(火)	西北地区共販協議会	つがる市
26日(水)	八戸沖操業調整に係る協定管理委員会	八戸市

11月	事 項	場 所
3日(木)	ほたて広場 秋のご馳走感謝祭	平内町
4日(金)	青森県太平洋沖合スルメイカ資源管理・利用のあり方検討会	八戸市
7日(月)	青森県知事への陳情（大型クラゲ被害対策等）	青森市
11日(金)	青森県ふるさと食品研究センター創立50周年記念式典	八戸市
12日(土)～13日(日)	青森県農林水産祭	青森市
15日(火)	青森県大型クラゲ漁業被害対策連絡検討会	青森市
15日(火)～21日(月)	青森の観光と物産展	沖縄県
15日(火)～30日(水)	青森の物産と日本のうまいもの伝統工芸展示即売会	台湾
16日(水)	六ヶ所地区3漁協合併研究会	六ヶ所村
16日(水)	今別町・外ヶ浜町地区4漁協合併研究会	外ヶ浜町
16日(水)	八戸沖海域における操業に係る小型いか釣漁業者代表者集会	三沢市
17日(木)	日本海地区漁業者協議会（資源回復計画）	鰺ヶ沢町
17日(木)	野辺地町・横浜町漁協合併研究会	横浜町
18日(金)	むつ市・川内町・脇野沢村3漁協合併研究会	むつ市
19日(土)	全国漁協代表者集会	東京都
19日(土)	平成17年度漁協運動功労者表彰式	東京都
20日(日)	第25回全国豊かな海づくり大会	神奈川県
21日(月)	外ヶ浜漁協第1回設立委員会	外ヶ浜町
24日(木)	むつ湾地区漁業者協議会（資源回復計画）	青森市
27日(日)	鰺ヶ沢町・深浦町地区漁協合併推進協議会	鰺ヶ沢町
28日(月)	第33回「海をきれいにする運動」作品審査会	青森市
29日(火)	青森県東部海域漁業協議会通常総会	青森市
30日(水)	東通地区漁協合併推進協議会設立総会	東通村

12月	事 項	場 所
1日(木)	秋季ホタテガイ実態調査報告会	青森市
2日(金)	沿岸漁業の動向に関する協議会	青森市
16日(金)	青森県漁協経営基盤強化対策協議会（認定漁協審議会）	青森市
17日(土)	第33回「海をきれいにする運動」表彰式	青森市
20日(火)	日本海北部漁協合併研究会	中泊町

# 県内漁協職員紹介



## 蛇浦漁協 易国間漁協 下風呂漁協

風間浦村は、本州最北端の地、下北半島北部の海岸線に位置し、津軽海峡をはさんで北海道恵山岬、函館山を望める漁業と観光を基幹産業とする村です。

東西20km、南北8kmの細長い村の約96%が山林、原野。総面積69.6km<sup>2</sup>、人口2,816人。

明治22年に町村制が施行され、下風呂村、易国間村、蛇浦村の旧3村が



風間浦村沖で水揚げされた本マグロ

合併、それぞれ1文字ずつを  
とって「風間浦村」が誕生し、  
今日に至っています。

今回は、風間浦村内の3漁  
協「蛇浦漁協」「易国間漁協」  
「下風呂漁協」の皆さんをご紹  
介致します。



下風呂温泉街で行われているイカ様レース

## 下風呂漁協



- 酢谷 一利
- 参事
- 貯蓄と親孝行
- 妻や友人と国内外を旅行することが楽しみ。



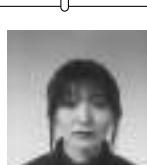
- 坪 誠
- 業務主任
- 日朝経済交流（円安）
- 孫に夢中病。



- 佐賀 茂
- 販売係
- テレビ鑑賞
- ごく普通の中年。



- 佐賀 利弘
- 購買係
- パチンコ、酒
- 毎日の晩酌とスナック「ドランカー」通いが命。

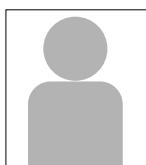


- 松井 留美子
- 経理係
- 読書・ピアノ
- わりと男勝りな性格。たまに現場に行くと、ついつい張り切って大声出してます。

## 蛇浦漁協



- 古川 純子
- 総務、信用
- 無芸、無趣味
- 気持ちちは若いが、身体はあちこち「ガタ」がきているこの頃、でもがんばらねば。



- 氏名
- 担当業務
- 趣味・特技
- 自己PR

## 易国間漁協



- 山本 公明
- 購買
- カー雑誌を見ること。
- カー雑誌を読み続けて21年、トーキーがへたなディーラー営業マンよりも、車がくわしくなった。



- 柴田 いづみ
- 庶務課
- IQサブリの合体漢字
- 毎週、家族でIQサブリを見て合体漢字を考えています。をまに、息子が先に答えると、ショックを受けています。



- 山本 悅子
- 共済、簡易郵便局
- 特になし
- これから趣味をもって老後にそなえたい。



- 宮古 大靖
- 購買係
- 海釣り
- 3ヶ月になる娘とのお風呂タイムと、その後のあの娘が唯一の楽しみです。



- 渡谷 一美
- 販売
- 料理
- ナシ